

てんだあ 第36号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2016年4月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



CONTENTS ~主な内容~

- 第10回南房総市社会福祉大会……2P
- 福祉作文……3・4P
- 福祉ニュース……5P
- ボランティアネット(和)ーク……6P
- ワンポイント介護……7P
- 善意の寄付、お知らせ……8P

はじめまして! わたし「みなみん」 みんな一緒にハイチーズ♪

みなみんふれあい映画上映会に、南房総市社協マスコットキャラクターみなみんが初めてのお出かけをしました。子どもから大人まで皆さんに囲まれ大人気!

さあ次はどこに行こうかな?
楽しみに待っていてくださいね。



桜
花言葉：精神美

～皆様に支えられ社協も今年で10周年～

『あなたの元気は地域を支える力!』

第10回 南房総市社会福祉大会を開催

南房総市社会福祉協議会発足10周年の節目に当たる、第10回南房総市社会福祉大会が2月13日(土)三芳農村環境改善センターにおいて開催されました。

地域で支え合うことの大切さを認識し、「住民参加によるふれあい・支えあいのある心豊かな福祉のまちづくり」の実現を目指して、地域の皆様とともに社会福祉の充実に向け一層の推進を誓いました。

また、社会福祉活動にご尽力され功績のあった方々への表彰と感謝状の贈呈、赤い羽根募金箱コンクール作品の表彰、市内小中学校・高等学校の児童・生徒からの心温まる福祉作文の発表に続き、記念講演が行われました。

また、市ボランティア連絡協議会主催「第3回南房総市ボランティアまつり」も同時開催されました。市内から多くの登録団体が出展し、大盛況でした。

また、市ボランティア連絡協議会主催「第3回南房総市ボランティアまつり」も同時開催されました。市内から多くの登録団体が出展し、大盛況でした。



地域福祉活動功労者の表彰

南房総市社会福祉協議会長表彰 (敬称略)

〔地域福祉活動功労者〕

坂本洋夫、渡邊利昌、大塚喜代、酒井静江、仲村弥生、宇山文枝
加藤京子、高木光路、吉田慶子、大和田慎一

〔地域福祉活動功労団体〕

読み聞かせボランティアグループあひるの会(富山地区)、八重会(千倉地区)
人形劇団ころころ(丸山地区)、なみはらっこくらぶ(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状 (敬称略)

笹子佳孝・黒田幸宏・笹子大輔(東京都立川市)、生稲妙子(富浦地区)
演歌親睦協会千葉県事務局(丸山地区)、南総歌謡連盟(館山市)
千倉ゴルフクラブ(千倉地区)、鋸南ロータリークラブ(鋸南町)

南房総市社会福祉協議会設立10周年記念特別表彰状 (敬称略)

白浜町根本区(白浜地区)、千倉ゴルフクラブ(千倉地区)、南房総市体育協会白浜支部ゴルフ部(白浜地区)、株式会社おどや(館山市)、演歌塾・丸山(丸山地区)、ラリーチームホットスタッフ(船橋市)、演歌親睦協会千葉県事務局(丸山地区)、大貫青年会(千倉地区)、大貫小松寺もみじまつり実行委員会(千倉地区)、富浦町建設協同組合(富浦地区)

〔福祉作文コンクール優秀作品表彰〕

小学生の部

最優秀賞 池田海颯(富浦小) 優秀賞 石井実咲(和田小)
小高知里(南小) 優良賞 鈴木基也(千倉小) 樋口真桜(南小)
小滝竣也(和田小)

中学生・高校生の部

最優秀賞 渡辺いづ美(富山中) 優秀賞 池田友佳里(嶺南中)
宇山日和(白浜中) 優良賞 井野日菜乃(富山中) 安田結貴(白浜中)
芳崎はづき(嶺南中)

〔赤い羽根募金箱コンクール優秀作品表彰〕

小学生低学年の部

最優秀賞 木曾心晴(白浜小) 優秀賞 伊藤綾華(丸小)
大井孝誠(富浦小) 優良賞 柴田美玲(富山小) 根本悠香(和田小)
小学生高学年の部

最優秀賞 川名碩人(南小) 優秀賞 錦織愛理(南小) 杉本大和(和田小)
優良賞 石井晴也(富浦小) 安田知央(千倉小)

記念講演

「健康で楽しく、第二の人生を生きるためには」トーク&ライブ

フォークシンガー・白鷗大学教育学部教授 山本コウタロー氏

「健康で楽しく、第二の人生を生きるためには」と題し、山本コウタローさんに講演をいただきました。

ご自身の闘病生活から学んだ「息・食・動・想・環」どれひとつ欠けてもダメだけど、それぞれが上手く交わり合えばいつまでも健康でいられます。自分が健康だからこそ、楽しみを見つけれられたり、ボランティア活動にチャレンジができるのです。

チャレンジする事で、出会いがあり仲間が増え、生きがいになります。「ボランティアは未来への大きなポイント」だ。」と語って下さいました。

最後にミニライブもあり、会場にお越しくださいました皆さんと「走れコウタロー」と「岬めぐり」を合唱し素敵な歌声に皆さん感激されていました。



ギター片手に大盛り上がり

育まれる、福祉の心、福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「福祉への思い」をテーマとした作文 416 編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

最優秀賞 《小学生の部》

「はるさんとの思い出」

南房総市立富浦小学校
4年 池田 海颯

私は、一昨年アイリスの里の秋祭りに参加して、一つの出会いを経験する事が出来ました。

それは、あるおばあちゃんとの出会いがきっかけでした。そのおばあちゃんは、百一才ながら、自分の身の回りの事は、自分で言う元気なおばあちゃんでした。私がアイリスの里で出会ったおばあちゃんの名前は、はるさんです。

元気だったはるばあちゃんがある日、とつ然体調をくずし、入院生活を送る事となりました。私は、その話を聞いた時、元気なはるばあちゃんの姿しか想像出来ませんでした。しばらくして、しせつにもどつてきたと聞いたので、久しぶりに手紙を書きました。私が書いた手紙を、お母さんがはるばあちゃんに、わたしにくれました。

しかし、はるばあちゃんは、病院からしせつにもどつてきた時には、字を書く事が出来なくなつてしまひ、二度と返事が返つてくる事は、ありませんでした。そんな中、はるばあちゃんは、お母さんに、「いつも、ありがとう」「本

当に、幸せだ」とくり返し言つてたそうです。私にとつて、はるばあちゃんは、とても大きなそんざいでした。学校での出来事を、はるばあちゃんに、手紙で書く事が、私の楽しみでもありました。

がしかし、はるばあちゃんとはたたびはなればなれになる日がつつ然やつてきたのです。しばらく、体調が落ちついていたはるばあちゃんに、ふたたび、病まがおそつてきました。お母さんは、はるばあちゃんが、入院したことを、私に、伝えずに、そつとしておくつもりだったそうです。しかし、はるばあちゃんから、海颯ちゃんには、もう会えなくなるかもしれないから、入院した事を伝えてほしいと言われたそうです。お母さんは、仕事から帰ると、必ずはるばあちゃんの様子を教えてくれていました。この日は、いつもと様子がちがいました。

そして、お母さんから、今ははるばあちゃんは、病氣と戦ひ、一生けん命生きようとしている事を知らされました。それから、私は、今の私に出来る事として手紙を書き続け、つるを折り、病院にいるはるばあちゃんが元気になれるよういのり続けました。はるばあちゃんの家族であるおよめさんから、「本当に、ありがとう」と何回も、おれいを言われ、私は、はるばあちゃんの帰りをすぐ

く楽しみに待つていました。そんな、はるばあちゃんも病氣と戦ひ、ついに、五月六日天国へと旅立つていきました。百一才のおばあちゃん、病氣のせいで、すぐつらい思いもたくさんしただらうけど、すてきな顔で、旅立の日をむかえたね。

はるばあちゃんがなくなつたつて聞いて、なみだが止まらなかつたんだよ。お母さんと二人で、たくさん泣いたんだよ。でも、はるばあちゃんが、がんばつたから私もがんばろうつて思えるんだよ。何にでも、チャレンジする気持ちを教えてくれたはるばあちゃん。

「本当に今までありがとう。」私の手元には、はるばあちゃんと交かんした手紙や写真、プレゼントがたくさんあるよ。私の一生の宝物だよ。天国から私の事を見守つていてね。最後に館山城でとつたはるばあちゃんときくらの写真は、本当にすてきな一枚だったね。

これからも色々大変な事があると思うけどはるばあちゃんの事を心のかたすみにおいて、何事にもチャレンジするよ。短い間だったけど、私は、はるさんの事が本当に大好きです。私の事を、忘れずに。

形見のクマのぬいぐるみ達も、元氣だから心配しないでね。これから

も私達が守つていくよ。



福祉作文小学生の部
最優秀賞 池田海颯さん

最優秀賞 《中学生・高校生の部》

「言葉と音」

南房総市立富山中学校

2年 渡辺 いづみ

言葉に感動をおぼえた事のある人は、どのくらいいるのでしょうか。「ありがとう」という言葉に、重さを感じた事がある人は、どのくらいいるのでしょうか。私には、忘れられない「ありがとう」があります。

小学校五年生の時、クリスマスパーティーによんでいただき、老人ホームに行きました。そのパーティーは毎年あるもので、五年生が対象となつていました。他にも、七夕祭や納涼祭などがあり、クリスマスが年内最後の交流会です。

私達は、サンタの格好をして、その場にいるおじいさん・おばあさん達にクリスマスプレゼントを配り、その後ステージで合奏と歌を披露するという発表の予定でした。人数が少ないので、衣装が全員分ありませんでした。あまり着ることのないワンピースのサンタ衣装に

ワクワクしながら、プレゼントの入った大きな白い袋片手に登場の時を待ちました。帽子の位置を確認したり、髪の毛を整えたりと、みんなどこかソワソワしていて、待ち時間ですら楽しかったです。そのうち、司会をしている職員さんの「富山小学校の皆さんです！」

という紹介で、前の人からどんどん会場へ入っていきました。私達の姿をみて、
「わあ、かわいいー！」
「小さなサンタさんだー！」
と笑ってくれる人もいれば、顔の筋肉を上手く動かすことができず無表情のままの人もいました。そういう人がいることは分かっていたので、特に気に止めることはありませんでした。

「メリークリスマス！」
そう笑顔で言いながら、袋の中からプレゼントを取り出し渡して行きました。どうぞと差し出すと、「ありがとうございます」と笑ってくれました。中には、手を動かすことができず職員さんが受け取る方もいましたが、自分で受け取ろうと手を震わしてくれたのが分かって、すごく嬉しかったです。

一人、また一人と渡していつて残り五人ほどになった時、ふと周りを見るとプレゼントを渡し終えて合奏準備に入っている子がほとんどで驚きました。これは急がなければいけないと、焦りながら渡していききました。配り終わり、私もステージに向か

おうとした時、職員さんに声をかけられました。

「あそこのおばあちゃんがまだ貰ってないから渡してあげてくれないかな？」

え、と一瞬固まってしまいました。折角終わったのにまたいかなければならないのか、と思ってしまうほどですが断るなどできるはずもなく、そのおばあさんの所へ行きました。すごく無理矢理な笑顔を向け、「メリークリスマス」とプレゼントを渡し、足早にその場から離れステージへ行こうとしました。しかし、足を動かすことができませんでした。お

ばあさんが、私の手を強く握っていたからです。予想外のことで、思わず手を離そうとしてしまいました。それでもおばあさんは離そうとせず、「ありがとう、ありがとう」と何度も何度も言っていました。それなのに私は、早くステージに行きたいからその手を離してしまいました。合奏している途中、本当にあれでよかったのかと後悔しました。もう一度話せないかと探してみたいけれど、部屋に戻ってしまったのか見つけることができませんでした。この日のことはすごくよく覚えています。「ありがとう」という言葉に、あんなにも気持ちが入っているの分かったのは初めてでした。

私は、音楽が好きで楽器を吹いています。もちろん、自分がやっている楽しいからでもあります。私の

音を聞いて、下手でも何でも何かを感じてくれたらいいなと思っていました。人の心まで届くような音をつくるためには、自分が正しいきれいな音を出さなければいけません。だから練習をします。音が届くように、伝わるようにするために、同じ練習を何度もします。

届ける・伝えるという面では、音も言葉も同じだと思います。自分の気持ちを伝えるために言葉をいいます。音楽も、人に聴いてもらうために出します。この2つは、似ていないようで、似ていると思います。

言葉も、音も、発信する人の心が大切だと思います。強く言えば、耳が聴こえなくても目が見えなくても、そんなこと関係なくなるはずですが、全員が理解することはできないかもしれないけれど、その思いを、受けとめてくれる人はきつといると信じています。自信を持って、自分のやり方で言葉で音で、伝えていきたいです。

いつか、あのおばあさんの「ありがとう」のように、人の心に残るような演奏をできたらいいなと思います。



福祉作文中学生・高校生の部 最優秀賞 渡辺いづ美さん

社会福祉協議会の会員募集

ご協力ありがとうございました。

平成27年度社会福祉協議会会員募集に際しまして、多くの市民の皆様からのご協力をいただきありがとうございました。また、行政区の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成27年度の地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のために有効活用させていただきました。

社会福祉協議会は、これからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援・ご協力をお願い申し上げます。

- 一般会費
12,978,200 円
- 賛助会費
810,000 円
- 特別会費
850,000 円



福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

1月21日

気持ちの「シートベルト」

締めなおしました

《移送サービス安全運転者

(フォローアップ)講習会》

南房総市社協で行っている、ボランティア移送サービス事業の運転協力者を対象に、安全運転講習会を開催し、当日は34名が参加。JAF千葉支部の石井清昭氏を講師に「安全運転について」の講義と模擬衝突体験機を体験。時速5kmで衝突した際の衝撃を体験し「5kmでこの音と衝撃!？」と、みなさん驚いていました。

運転協力中は、普段の運転ではなく高齢者や障害をお持ちの方を乗せているということを忘れず運転する事を学びました。



ガシャン! 衝撃と音に怖い怖い

最後に、社協担当者から「事故が起きた場合の対応について」の説明があり、いざという時の行動を再確認しました。今後の移送サービスが安全に事故なく行われるよう気持ちを新たにしたい講習会でした。

1月28・29日

地域で生活していくためには

《生活支援の担い手養成研修》



地域のニーズを再確認

平成27年度介護保険制度改正により、新たな総合事業がスタートし、元気な高齢者が高齢者を支える地域づくりを進めるために、元気な高齢者を生活支援の新たな担い手として養成し社会参加を促進することを目的に、担い手養成研修を開催しました。

始めに、地域包括支援センターリブ丸山の川名真啓氏から「超高齢社会の現状と国が進める地域包括ケアシステムについて」の講義があり、その後鴨川市福祉総合相談センターのソーシャルワーカー高梨美代子氏から、「担い手としての心構えや生活支援をする上でのポイント」を教えて頂きました。

私たちの住んでいる南房総を、住みやすい地域にするために、参加された皆さんが意見を出し合い、新たな担い手として動き出し始めました。

2月3日

自分たちの町について

考え集う取組み

ボランティア活動を目標して

《南房総市地区社協連絡会 研修会》

千葉県柏市松葉町にある、地域コミュニティカフェ「まつばR」に視察研修に行きました。「人が集い、ご縁が生まれる」そんなつながる場として、自分たちの地域に集う場を作ろうとスタートしたカフェだそうです。ボランティア活動を通して楽しい事ばかりではなく、苦労があることの話も伺いました。今では90歳のお年寄りや地域の方々が楽しみに通ってくださる場となっているそうです。

自分たちの町について考え集い、お互いに助け合う活動の取り組みは素晴らしいものがありました。地域は違っても目指すものは一緒。委員同士、意見交換も活発に行われた研修となりました。



意見交換も活発に!

ボランティア
連協

第3回南房総市 ボランティアまつり開催

2/13

広がれ!

ボランティアが活動をレポート

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

南房総市社会福祉大会と同日開催された、第3回南房総市ボランティアまつりは市内23団体と、安房管内の福祉施設10施設が参加し盛大に開催されました。

日頃の活動紹介や手工芸品の販売、今年は新たにバザーも行われ各ブース共に大賑わいでした。



美味しいコーヒーはいかがですか？



絵本の読み聞かせに夢中です♪



どのブースも大盛況です

ボラ登録更新のお知らせ

市内で福祉活動をしているボランティアさんを応援!

平成28年度ボランティア登録の受付が始まります

4月1日
から

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動を支援するため、平成28年度のボランティア登録の受付を行います。(すでに登録されている個人・団体の方も、更新の登録が必要となります。)

登録には、一定の要件を満たすことが原則となっていますが、登録をされた場合、下記の支援が受けられます。ぜひこの機会に登録をお願いします。

◎登録すると・・・

- ① 社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入
- ② 社会福祉協議会が発行する情報誌等への活動内容の掲載や活動に関する相談助言
- ③ ボランティア活動助成金の交付
- ④ 社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録した各団体同士の情報交換や交流

登録を希望されるボランティア(個人・団体)の方は、南房総市社会福祉協議会(本所)または、所属する各福祉サポートセンターで登録の手続きができます。

ご報告



歳末たすけあい募金は、配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生児童委員を通じ、お届けいたしました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金	6,805,047円
歳末たすけあい募金	6,621,281円



10月からの赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から多くのあたたかい善意をお寄せいただきました。

行政区を通じての戸別募金をはじめ、市内の商店街や会社、各学校の児童・生徒の皆さん、各種団体やボランティアの方々など、多くのご協力をいただきありがとうございました。



ホームヘルパーの ワンポイント かいGO 介護

誤えんについて

加齢とともに、食べ物を飲み込む力が少しずつ弱くなります。

食べ物が、食道ではなく気管に入ってしまうことで、誤えん性肺炎になるおそれがあります。

👉 食事の時は、次の点に注意しましょう。

- ① 椅子に深く座り、正しい姿勢で急がず食べる。
- ② ゴクンと飲み込んだことを確認してから、次の物を口に入れる。
- ③ 硬いもの、パサパサしたものはとろみをつけたゼリーを利用し飲み込みやすくする。
- ④ 噛みにくいものは、小さく刻む。

以上の事に注意して、ゆったり穏やかな雰囲気の中で楽しい食事を心がけましょう。



介護についてのご相談は

- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター ☎29-5022
- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス ☎29-5021

福祉車両を無料で貸出します



車イスのまま乗れる軽車両(スロープ式)を無料で貸出します。

【利用できる方】

市内在住の日常生活において介護が必要な高齢者、心身障がい者(児)の方です。

【利用について】

利用期間は原則として1日です。使用した分の燃料を補給(自己負担)してお返してください。

車種は、各福祉サポートセンターにより異なります。また、事前に車両の空き状況をお問い合わせください。

【問合せ】

お近くの各福祉サポートセンターへ

2月1日

認知症カフェに行ってみよう

～南房総市社協介護者のつどい～

今回の介護者のつどいは、知人の家に遊びに来たような、ゆったりとくつろげる雰囲気の空間「認知症カフェ「つむぎ」にお邪魔しました。

代表を務める岡山貢一先生(三芳・岡山歯科医院開業医)より、どうして認知症カフェを始めたかというお話を聞かせていただきました。

「人生の荷を、ここで話すことで降ろしていったほしい。」そんな思いから始められたそうです。

日頃の介護のことや、自分たちの老後のことなど気兼ねなく話し合え、カフェにいる間はあつという間で、とても楽しい時間を過ごせたので、次回も参加したいとの声も聞かれました。



古民家を改築した落ち着いた空間の中で



たくさんのおまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成27年12月～平成28年2月

千倉ゴルフクラブ	45,800 円
南房総市体育協会白浜支部ゴルフ部	28,333 円
(株)おどや	60,710 円
有限会社 青木酸素商店	37,900 円
鋸南ロータリークラブ	30,000 円
(有)外立商事	10,000 円
松永醫院	10,000 円
三石山観音寺	50,000 円
富浦町建設協同組合	20,000 円

井野暁子	(物品寄付：スリッパ)
舞花カラオケ愛好会	23,000 円
匿名 3件	88,500 円

第3回南房総市ボランティアまつりで ご協力いただいた方々のご寄付

なみはらっこくらぶ	1,000 円	あすなろの会	3,000 円
びわっこランチサービス	1,000 円	茶香会	1,000 円
ランチサービスちくら	3,000 円	ふれあい喫茶「なごみ」	1,000 円
オレンジの会	4,000 円	もみじ会	4,000 円
ボランティア連絡協議会千倉支部	1,000 円		
南房総市ボランティア連絡協議会	4,815 円		

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

身近な

「ちょっといい話」

第10回社会福祉大会の演台
花は丸山地区の金井隆さんか
らご寄付頂きました。また、
アレンジメントは三芳地区の
角田明美さんが華やかに活け
て下さいました。

多くの皆様にご参加いた
だき、とてもにぎやかな社会福
祉大会を開催することが出来
ました。ありがとうございます。



【無料法律相談】

～法律に関することでお悩みの方～

時間/午後1時～午後4時
予約・問い合わせ ☎44-3577

開設日	場 所	担 当
4月28日(木)	ちくら介護予防センター	弁 護 士
5月26日(木)	和田地域福祉センター	司法書士
6月23日(木)	とみうら元気倶楽部	弁 護 士

- 事前予約申込：随時電話にて予約を受け付けます。
- 定 員：6人（相談はおひとりにつき30分まで）
- そ の 他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

お知らせ

紙おむつを給付します

南房総市内に在住し、在宅で日常生活のほとん
どに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベット上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護認定3・4・5の方 ・身体障害者手帳1級・2級の方 ・精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット フラットタイプの内1品目

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で要介護4・5の方 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税の世帯
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内

申込期限/平成28年4月28日(木)まで
給付月/平成28年6月
申込先/南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター
問い合わせ/南房総市社会福祉協議会(本所)
または、お近くの福祉サポートセンターへ。

4月から しらはま福祉サポートセンターの 事務所が移転します。

このたび、南房総市社会福祉協議会しらはま福祉サ
ポートセンターが下記の住所へ移転します。
移転に伴い、市民の皆様にご迷惑をおかけしますが、
変わらぬご支援を頂きますよう、よろしくお願いいたし
ます。

◆〒295-0102 南房総市白浜町白浜14955番地
南房総市白浜コミュニティセンター内
電話 30-5122・FAX 30-5124

広報紙でんだあ35号の掲載内容に一部誤りがありました。
<訂正記事>
6ページ、手話の会「しらはま」の紹介内で、
【誤】目の不自由な方 【正】耳の不自由な方
以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

— 発行・編集 —

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸2705-6
☎44-3577 ㊚44-3542

- ◆とみうら福祉サポートセンター ☎33-4565
- ◆とみやま福祉サポートセンター ☎57-2926
- ◆みよし福祉サポートセンター ☎36-2276
- ◆しらはま福祉サポートセンター ☎30-5122
- ◆ちくら福祉サポートセンター ☎44-3541
- ◆まるやま福祉サポートセンター ☎46-2200
- ◆わだ福祉サポートセンター ☎47-3390

みてみて!



facebook



twitter